

パソコンいわくら教室新聞

先月はGoogleフォトについてお話しました。今回はiCloudフォトです。これはアップルIDで利用できる写真管理サービスです。

iCloudとは

iCloudとは、アップルIDで利用できるクラウドサービスです。iCloudは、主にiPhoneやMacのバックアップで利用します。

iPhoneを利用するためには必ずアップルIDを取得する必要があります。IDを取得するとそれに紐付いたiCloudのサービスが作成されます。iPhone自体のバックアップや、iPhoneアプリで使っている「連絡先」「カレンダー」「写真」「メモ」「リマインダー」などもiCloudと同期されますので、パソコンなどでも見ることが出来ます。中でも便利な機能は「iPhoneを探す」です。iPhoneを置き忘れた、どこにあるかわからない...など。iPhoneにも同じアプリはありますが、無かった場合そのアプリは見られませんが、パソコンなどでそのアップルIDでiCloudにログインすれば、探す機能を使うことができます。(https://www.icloud.com/)

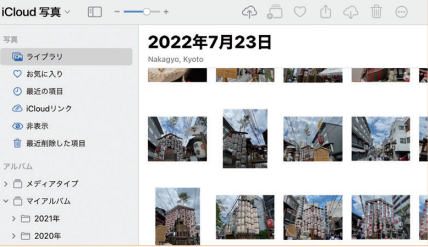


iPhoneを探す

iCloudフォト

iCloudフォトは、iCloudサービスのひとつで、iPhoneで撮影した写真がそのまま同期され、保存されます。削除した写真は同様にiCloudでも削除されます。ただ、Googleフォトと異なり、無料で使える保存容量は5GBしかありません。(Googleは15GB) iCloudの容量が一杯になるとそれ以上のバックアップは行われなくなります。(iPhone上にストレージが不足している旨のメッセージが表示されます) 写真が撮れなくなるわけではありません。

写真のバックアップが不要なら容量を増やす(空ける)必要も



ないでしょうが、iPhone自体のバックアップ分も兼ねていきますので、何らかの対応を行うことをお奨めします。(写真を削除するか、容量を増やす有料プランを申し込むかです。月額130円です) フォトでできることは、iPhoneの写真アプリとほぼ同様です。

Windowsと連携

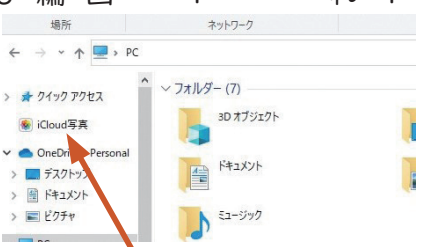
パソコンに写真を保存する際は、ケーブルで接続し取り込む必要がありました。iCloud for Windowsアプリを導入すると、iPhone写真と同期することが出来ます。(Windows Storeからダウンロードできます。)

パソコン内に「iCloud写真」フォルダが作成され、その中にiCloudにある写真が同期されます。同期は一方通行でパソコン側で削除してもiCloud内の写真が削除されることはありません。

意外と知られていないiCloudです。写真もパソコンで見られれば、大画面で快適ですし、印刷や編作業といった様々な操作も行ないやすくなります。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



iCloud 写真 フォルダ

